

# 第157回 医療技術者研修会

## 高齢者に対する薬物療法の注意点 — ポリファーマシーへの多職種の間与 —

講師：秋下 雅弘 先生

東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

### 【講演要旨】

ポリファーマシーは、単に服用する薬剤数が多いこと（多剤服用）ではなく、それに関連して薬物有害事象や服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態である。高齢者は多病のため多剤服用、かつ要介護状態にあることも多く、ポリファーマシーの問題が顕在化しやすい。ポリファーマシー対策の指針として、日本老年医学会のガイドライン、日本医師会の手引き、厚労省の指針が策定され、さらに診療報酬でも対策が保険点数化されるなど、まさに国を挙げてこの課題に取り組もうとしている。そこで重要なのは多職種協働である。処方する医師と薬の専門家である薬剤師が重要な役割を果たすことはもちろん、病状観察とコミュニケーションに優れた看護師、運動や栄養の専門家である療法士や管理栄養士がそれぞれ得意な領域で関与すれば、チーム全体で大きな力を発揮できるはずである。講演では、高齢者の薬物問題を概説し、多職種協働の重要性を強調したい。

### 【講師略歴】

現職：東京大学大学院医学系研究科老年病学教授、同附属病院老年病科科長  
1985年東京大学医学部卒業後、スタンフォード大学研究員、ハーバード大学研究員、杏林大学医学部高齢医学助教授、東京大学准教授などを経て、平成25年現職。

### 【関連著書】

- ・飲んでる薬、多すぎませんか？（アトデイス）
- ・薬は5種類まで 中高年の賢い薬の飲み方（PHP新書）

### 【所属学会等】

日本老年医学会理事長、日本老年薬学会代表理事、日本性差医学・医療学会理事長

【日時】2022年11月26日（土）午後3時～5時30分

【参加費】無料 【定員】100名（接続数）Webオンラインでの参加のみとなります

### 申し込み方法

- 1、勤務先・職種・氏名（フリガナ）を漏れなく記入のうえ、研修会の期日と開催回数を明記し、メール([seminar@byotai.or.jp](mailto:seminar@byotai.or.jp))にてお申し込みください。（記入もれがある場合、返答できません。あらかじめご了承ください。）
- 2、申込者へは順次、受講申込への返答をメールで送付いたします。
- 3、勤務先ごとでまとめて、お申込みください。同一施設で複数名申し込みの場合は施設視聴をお勧めします。

\*定員到達後の申込者へは「締切済」通知をメールで送付します。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、いただいた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては下記「医療技術者研修企画係」へご連絡をお願いいたします。

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 TEL:03-3956-4120

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係